

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	胸腺の切除範囲ががん発症リスクに与える影響の検討 (B 24-079)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部呼吸器外科学 教授 佐藤之俊
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・ 目的	胸腺腫の術式には胸腺全摘術と胸腺部分切除が存在します。胸腺全摘術の方が胸腺腫に対する治療効果が高いと考えられ、これまで多く用いられてきました。近年胸腺が癌の発生を抑える働きをしている可能性が指摘されてきており、胸腺全摘をした患者さんと部分切除をした患者さんで術後の癌発生率を調べ、胸腺を一部残す利点があるかどうかを調べます。
調査データ 該当期間	2005年1月1日から2024年6月1日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2005年1月1日から2021年12月31日に当院に入院し胸腺全摘術または部分切除を行われた方。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2005年1月1日から2024年6月1日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始す る予定日	利用又は提供開始予定日：研究期間の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、呼吸器外科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会にて審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：呼吸器外科・助教 担当者：(フリガナ) 玉川 達 (タマガワ サトル) 電話：042-778-8111</p>
備考	